

校長室だより

平成31年 2月 1日(金)

羽咋市立瑞穂小学校 No. 37



共 育

1/29 なわとび集会がありました。

最初は「短なわチャレンジ」でした。一人一人が、前とび、後ろとび、かけ足とび、あやとび、交差とび、二重とび、そくしん二重とび、あや二重、交差二重、つばめ返しのそれぞれの種目で、自分で決めた種目に挑戦しました。みんな、これまで練習してきた成果が発揮できていました。「短なわチャレンジ」が終わった時点では、赤団77点、白団66点、黄団69点、青団69点でした。

その後、「長なわチャレンジ」「8の字チャレンジ」をしました。応援の声をかけ合い、協力している姿が見られ、どの団も団結してがんばっていることがうかがわれました。

「短なわ」「長なわ」「8の字」の得点の合計は、赤団820点、白団1081点、黄団942点、青団928点で、白団の優勝となりました。

みんな真剣に跳び、応援する姿が見られたなわとび集会を通して、瑞穂っ子の絆をさらに深めることができました。集会を上手に進行してくれた体育委員の皆さんありがとうございました。



1/30 6年生が防犯マップ作成報告会をしました。

11月に富永地区内を調査して作り始めた防犯マップの作成報告会をしました。4つのグループに分かれて、吉崎町、吉崎新町、次場町、若草町、深江町を調べました。どのグループも防犯マップと写真を提示しながら、クイズを取り入れたりして危険箇所の説明をしました。どの発表にも共通していた危険な場所は、「人通りが少ない場所」「暗い場所」「高い塀や大きな木などがあり、見えにくい場所」でした。また、「車が通る側にガードレールがない道は、誘拐されるかもしれないので気をつける必要がある。」という発表もありました。各グループの発表の最後には、「入りやすく見えにくいのは危険をキーワードに行動しましょう。」「いつも通っている道だけど、安全か危険かを考えて通らしましょう。」「と呼びかけていました。最後に羽咋署の小坂さんから、「天候や季節でも安全・危険が変わることもあります。どこへ行っても安全か危険かを考えて生活してください。」と、話がありました。自分たちが住んでいる地域を、安全・危険という目で見直すよい学習となりました。

